

## 「蛋白分画」 検査場所変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、当施設にて検査を行っている下記項目につきまして、2022年4月18日より（株）LSIメディエンスに検査委託を開始させていただきます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 対象項目

- [7568500]蛋白分画
- [7845800]尿中蛋白分画

#### 変更期日

- 2022年4月18日(月)受付日分より

## 血清蛋白分画の検査要項

変更内容	新	旧
項目コード	7568500	0420100:5分画 0421000:6分画
検査項目名	変更なし	蛋白分画
検査方法	変更なし	キャピラリー電気泳動法
検体量／保存方法	血清 0.4mL *1 / 冷蔵 [容器番号:01番]	血清 0.3mL / 同左
基準値*2	アルブミン : 55.8~66.1 (%) α <sub>1</sub> グロブリン: 2.9~4.9 (%) α <sub>2</sub> グロブリン: 7.1~11.8 (%) β <sub>1</sub> グロブリン: 4.7~7.2 (%) β <sub>2</sub> グロブリン: 3.2~6.5 (%) γグロブリン : 11.1~18.8 (%) A/G : 1.3~1.9	同左
報告下限	(設定なし)	同左
報告上限	(設定なし)	同左
報告桁数	小数1位、有効3桁	同左
所要日数	2~3日	1~3日
備考	*1: 溶血検体でのご依頼は避けて下さい。造影剤などの薬剤を投与された場合には検査値に影響がみられる可能性があります。 *2: 蛋白分画《キャピラリー電気泳動法》の基準値設定は分画測定値のみとし、濃度の設定はございません。	

## 尿中蛋白分画の検査要項

変更内容	新	旧
項目コード	7845800	0420300
検査項目名	尿中蛋白分画	蛋白分画〈尿〉
検査方法	アガロースゲル電気泳動法	キャピラリー電気泳動法
検体量／保存方法	尿 1mL / 冷蔵 [容器番号:25番]	尿 7mL / 同左
基準値	(設定せず)	同左
報告成分*	アルブミン (%) α <sub>1</sub> グロブリン (%) α <sub>2</sub> グロブリン (%) βグロブリン (%) γグロブリン (%) A/G	同左
報告下限・上限	(設定なし)	同左
報告桁数	小数1位、有効3桁	同左
所要日数	2~3日	1~3日
備考	*: 尿検体は補体成分であるβ <sub>2</sub> グロブリンを含まないため、5分画報告となります。	

### 参考文献

伊藤喜久：Medical Technology 39 (3) : 278-284, 2011.  
藤川麻由美, 他：医学検査 62 (suppl) : 37, 2013.

# 蛋白分画検査報告書 (血清用) の見本

## 血清用

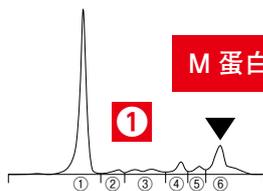
蛋白分画検査報告書													
患者名			検体No										
様			年齢	性別									
科名	カルテNo	採取日	年	月	日								
担当医	患者ID	受付日	年	月	日								
		報告日	年	月	日								
検査材料	検体情報	乳び	溶血										
項目	分画測定値	単位	濃度	単位	基準値								
総蛋白				g/dL	6.7 ~ 8.3 g/dL								
<b>1</b> 蛋白分画													
① アルブミン		%		g/dL	55.8 ~ 66.1 %								
② α <sub>1</sub> グロブリン		%		g/dL	2.9 ~ 4.9 %								
③ α <sub>2</sub> グロブリン		%		g/dL	7.1 ~ 11.8 %								
④ β <sub>1</sub> グロブリン		%		g/dL	4.7 ~ 7.2 %								
⑤ β <sub>2</sub> グロブリン		%		g/dL	3.2 ~ 6.5 %								
⑥ γ グロブリン		%		g/dL	11.1 ~ 18.8 %								
A/G (電気泳動法)					1.3 ~ 1.9								
A/G (電気泳動法)は、蛋白分画より計算されたものです。													
泳動パターン			(参考: 典型例)										
<b>2</b>				急性炎症	慢性炎症	急性肝障害	肝硬変	悪性リンパ腫(癌)	ネフローゼ症候群	栄養失調、蛋白不足	血管内出血	免疫複合体疾患	免疫不全症
	TP					↑~↑↑			↓↓	↓↓			↓~↓↓
	ALB	↓↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓~↓↓	↓	↓		↓↓
	α <sub>1</sub>	↑	↑							↓			
	α <sub>2</sub>	↑	↑	↓	↓				↑↑		↓		
	β <sub>1</sub>	↓	↓						↓	↓			
	β <sub>2</sub>	↑									↓		↓
γ	↑~↑↑				↑↑↑	↑↑↑	↑↑↑	↓	↓				↓↓
↓減少; ↑増加; ↓↓顕著な減少; ↑↑↑大幅な増加													
監修 前旭川医科大学教授 伊藤 喜久													
コメント													
医療機関													
検査実施施設			検査責任者										
( : 既報告、 ! 基準値外、 # 再検済、 ★ 委託)			インフォメーション 医療機関用: (03) 5994 - 2111										

\* 縮小しています。

尿検体での依頼時は、『蛋白分画検査報告書 (尿・その他)』にてご報告致します。

## 2 泳動パターンのご報告例

検出された各バンドには、そのピークがどの成分に該当するのかわ確認できるような図の通り、数字(①,②,③,④,⑤,⑥)を付記してご報告致します。(血清蛋白分画のみ)



コメント M蛋白様バンドが認められます

## 1 数字を付記する各成分

- ① アルブミン
- ② α<sub>1</sub> グロブリン
- ③ α<sub>2</sub> グロブリン
- ④ β<sub>1</sub> グロブリン
- ⑤ β<sub>2</sub> グロブリン
- ⑥ γ グロブリン